



ルール設定とルールの管理

- [ルール設定とルールについて](#) (1 ページ)
- [ルール設定を設定するためのタスク リスト](#) (2 ページ)
- [ルール設定の作成](#) (3 ページ)
- [ルール設定へのルールの追加](#) (3 ページ)
- [ルールの変更](#) (7 ページ)
- [ルール設定でのルールの順序変更](#) (7 ページ)
- [ルール設定のテスト](#) (8 ページ)
- [ルール設定の削除](#) (9 ページ)
- [ルール設定の有効化と無効化](#) (10 ページ)
- [パーソナル着信転送ルールを適用するための基本転送ルールの設定](#) (11 ページ)

ルール設定とルールについて

パーソナル着信転送ルールを使用すると、着信コールを受信する方法と場所を統合できます。パーソナル着信転送ルール Web ツールを使用して、発信者の識別情報、時刻、およびミーティングスケジュールに基づいて、着信コールを転送およびスクリーニングするルールを作成できます。また、Cisco Unity Connection が選択した着信コールを通知先または通知先グループに転送するように設定することもできます。

ルールの特性は、必要とする頻度で変更できますたとえば、同僚からの着信すべてを携帯電話に送信するルールを作成した後で、そのルールを同僚からの着信以外の着信すべてを携帯電話に送信するように変更することができます。

ルールは、たとえば「着信はすべてボイスメールに送信する」というように一般化することができます。または、たとえば「ジェーン・スミスからの着信は、午前 9 ～ 10 時に発信された場合は携帯電話に送信し、スクリーニングする」というように、特化することもできます。

ルール設定は、1 つまたは複数のルールのグループで、スケジュールに応じて、特定の日/曜日および特定の範囲の日/曜日に有効にできます。ルールセットで指定されている日付または曜日になると、Connection は、ルールセットを有効にし、そのルールセットに照合して着信の処理を始めます。Connection では、日付の範囲に対して有効になっているルール設定は、1 つの曜日に対して有効になっているルール設定に優先します。

Connection は、ルール設定で着信コールの条件に最初に一致するルールを使用して、その着信に適用します。したがって、設定内でルールを配列する方法は重要です。一般に、ルールは最も固有性の高いものから最も固有性の低いものへと配列します。

ルール設定を正常に設定するには、[ルール設定を設定するためのタスク リスト \(2 ページ\)](#) を参照してください。

ルール設定を設定するためのタスク リスト

ルール設定を正常に設定するには、次のタスクを記載順に実行します。

1. ルールで使用する個人連絡先、発信者グループ、個人通知先、および通知先グループをすべて設定します。次の適切なトピックを参照してください。
 - 『*User Guide for the Cisco Unity Connection Messaging Assistant Web Tool*』の「Managing Your Contacts」 (https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/user_guide/assistant/b_14cucugasst.html)
 - [発信者グループの作成](#)
 - [個人通知先の作成](#)
 - [通知先グループの作成](#)
2. ルール設定を作成します。[ルール設定の作成 \(3 ページ\)](#) を参照してください。
3. ルール設定にルールを追加します。[ルール設定へのルールの追加 \(3 ページ\)](#) を参照してください。
4. ルールを正しい順序にします。[ルール設定でのルールの順序変更 \(7 ページ\)](#) を参照してください。
5. 転送ルールを適用する前に Connection が内線番号を呼び出すようにする場合は、パーソナル着信転送ルール Web ツールの [設定 (Preferences)] > [ルール設定 (Rule Settings)] ページで該当するチェックボックスをオンにします。[ルール処理設定の変更](#) を参照してください。
6. 必要に応じて、ルール設定をテストします。[ルール設定のテスト \(8 ページ\)](#) を参照してください。
7. 必要に応じて、ルールを変更します。[ルールの変更 \(7 ページ\)](#) を参照してください。
8. ルール設定を有効にします。[ルール設定の有効化と無効化 \(10 ページ\)](#) を参照してください。
9. パーソナル着信転送ルールを適用するように基本転送ルールを設定します。[パーソナル着信転送ルールを適用するための基本転送ルールの設定 \(11 ページ\)](#) を参照してください。

関連トピック

[ルール設定とルールについて \(1 ページ\)](#)

ルール設定の作成

手順

- ステップ 1** パーソナル着信転送ルール Web ツールの [ルール (Rules)]メニューで、[着信転送ルールの設定表示 (View Call Transfer Rule Sets)]を選択します。
- ステップ 2** [着信転送ルールの設定 (Call Transfer Rule Sets)]ページで、メニューバーの下にある [新しいルール設定 (New Rule Set)]アイコンを選択します。
- ステップ 3** [ルール設定]ページで、新しいルール設定の名前を入力します。名前には、状況に適合し、覚えやすいものを選択します (たとえば、「週労働日」という名前のルール設定は月曜日から金曜日にアクティブになるのに対して、「アフリカ旅行」というルール設定は、その旅行日 (暦日) の間アクティブになります)。
- ステップ 4** Media Player で、録音を選択して、ルールセットの名前を録音します。
Cisco Unity Connection は、電話でルール設定にアクセスしたときに、この名前を再生してルールセットを識別します。
- ステップ 5** 録音の終了後、[停止 (Stop)]を選択します。
- ステップ 6** 保存を選択します。

関連トピック

[ルール設定へのルールの追加](#) (3 ページ)

ルール設定へのルールの追加

ルール設定を作成後、そのルール設定に 1 つまたは複数のルールを追加します。



注意 ルールを追加する前に、ルールで使用する連絡先、発信者グループ、個人通知先、または通知先グループをすべて作成する必要があります。これらが存在しないと、ルールを正しく設定できません。

手順

- ステップ 1** パーソナル着信転送ルール Web ツールの [ルール (Rules)]メニューで、[着信転送ルールの設定表示 (View Call Transfer Rule Sets)]を選択します。
- ステップ 2** [着信転送ルールの設定 (Call Transfer Rule Sets)]ページで、そこにルールを追加するルール設定の名前を選択します。

ステップ 3 [ルール設定 (Rule Set)] ページの [転送ルール (Transfer Rules)] セクションで、[ルールの追加 (Add Rule)] を選択します。

ステップ 4 [ルール (Rules)] ページで、[呼び出しが次の場合 (If the Call Is)] セクションに適切な情報を入力して、Connection が呼び出しまたは発信者を識別するときに使用するようになります。少なくとも、着信コールの転送先となる通知先、通知先グループ、またはボイスメールを選択する必要があります。次の表を使用して、フィールドの値を決定します。

フィールド	説明
送信元 (From)	<p>[発信者]、[発信者グループ]、[電話番号]、[発信元] フィールドとともに使用して、ルールにおいて発信者の識別情報に対する条件を設定します。</p> <p>[送信元 (From)] チェックボックスをオンにして、必要に応じて、リストの [次の発信元 (From)] または [次の発信元以外 (Not From)] を選択します。</p>
発信者	<p>発信者をルールに追加するのに使用します。</p> <p>a. [発信者 (Caller (s))] チェックボックスをオンにしてから、[発信者の追加 (Add Callers)] を選択します。</p> <p>b. [連絡先検索 (Find Contacts)] ページで、Connection ディレクトリ内のユーザのリストを検索するか、連絡先リストにあるユーザのリストを検索するかに応じて、適切なタブを選択します。Connection ディレクトリ内のユーザと管理者が定義した連絡先の両方が検索できます。管理者が定義した連絡先は、検索結果リストの名前にアスタリスク (*) を付けて表示されます。</p> <p>c. 名前または名前の一部を入力して、[検索 (Find)] を選択します。</p> <p>d. ルールに追加する発信者の横にあるチェックボックスをオンにします。複数のチェックボックスをオンにすると、複数の発信者が一度に追加できます。</p> <p>e. 必要に応じて、[ユーザーの追加 (Add Users)] または [連絡先の追加 (Add Contacts)] を選択します。</p> <p>f. 発信者をルールから削除するには、その名前を選択し、[選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。</p>
発信者グループ	<p>発信者グループをルールに追加するのに使用します。</p> <p>[発信者グループ (Caller Group)] チェックボックスをオンにし、リストにある発信者グループを選択します (ルールにおいて発信者グループを使用する前に、発信者グループを作成する必要があります) 。</p>
電話番号	<p>電話番号をルールに追加するのに使用します。</p> <p>[電話番号 (Phone Number)] チェックボックスをオンにし、Connection で着信に関連付ける番号を入力します。Connection は、着信の電話番号が、フィールドに入力した番号と完全に一致した場合にのみ、ルールを処理します。ワイルドカード文字 X および * を使用すると、複数の電話番号と一致する場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • X は、0 ~ 9 の任意の 1 桁の数字と一致します。たとえば、9XXX というパターンは、9000 から 9999 までの範囲の電話番号と一致します。

フィールド	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • アスタリスク (*) は、任意の連続した数字と一致します。たとえば、パターン 5556304* は 5556304、55563040、55563041、5556304100 などの電話番号と一致します。
発信元	<p>必要に応じて、Connection が発信者を既知の電話番号（Connection ユーザ、連絡先、または Connection 管理者が定義した連絡先）であるか、あるいは未知の電話番号（外部の発信者）であるかを識別したのに基づいて、発信者を含めるか、あるいは除外するかに使用します。</p> <p>[発信元 (Call Source)] チェックボックスをオンにして、必要に応じて、リストの [既知の電話番号 (Known Number)] または [不明な電話番号 (Unknown Number)] を選択します。</p>
受信した期間	<p>Connection が着信コールにルールを適用する期間を設定するのに使用します。</p> <p>[受信した期間 (Received Between)] チェックボックスをオンにして、必要に応じて、リストの [受信した期間 (Received Between)] または [受信しなかった期間 (Not Received Between)] を選択します。時間と分のリストで時間範囲を選択します。</p>
ミーティングに参加している場合	<p>Connection が、着信にルールを適用する場合に、ミーティングに参加しているかどうかを Microsoft Outlook のカレンダーを使用して判定するのに使用します。Connection は Outlook のミーティング時間が [予定あり (Busy)] とスケジュールされているときは、ユーザが会議中であると見なします。[仮の予定 (Tentative)]、[空き時間 (Free)] または [外出中 (Out of the Office)] に設定されているミーティングはすべて Connection では考慮されません。</p> <p>[ミーティングに参加している場合 (I Am in a Meeting)] チェックボックスをオンにして、必要に応じて、リストの [ミーティングに参加している場合 (I Am in a Meeting)] または [ミーティングに参加していない場合 (I Am Not in a Meeting)] を選択します。</p> <p>(注) この機能は、一部のシステムでは使用できません。この機能が使用可能かどうかについては、Connection の管理者に問い合わせてください。</p>

ステップ 5 [呼び出しの転送先 (Then Transfer the Call To)] セクションに、Connection が呼び出しを転送するときに使用する適切な情報を入力します。ルールが有効であるためには、通知先、通知先グループ、またはボイスメールのいずれかを指定する必要があります。次の表を使用して、フィールドの値を決定します。

フィールド	説明
通知先 (Destination)	<p>Connection が、指定した通知先に呼び出しを転送するのに使用します。</p> <p>[通知先 (Destination)] を選択してから、リストの通知先名を選択します。</p>

フィールド	説明
	<p>(注) SMS 通知先と SMTP 通知先は [通知先] リストには表示されません。ルールに使用するには、デバイスは、少なくとも1つの電話番号を持つ通知先グループに含まれている必要があります。</p>
通知先グループ	<p>Connection が、指定した通知先グループに呼び出しを転送するのに使用します。</p> <p>[通知先グループ (Destination Group)] を選択してから、リストの通知先グループ名を選択します。</p>
ボイスメール	<p>Connection が、ボイスメールに呼び出しを直接転送するのに使用します。</p> <p>[ボイスメール (Voicemail)] を選択します。</p>
電話をスクリーニングする	<p>Connection が、ルールを適用する着信をスクリーニングするのに使用します。</p> <p>[電話をスクリーニングする (Screen the Call)] チェックボックスをオンにします。</p> <p>(注) このオプションは、Connection の管理者がスクリーニングオプションを有効にし、かつ Messaging Assistant Web ツールの [電話の保留とスクリーニングのオプション] ページでスクリーニングオプションが設定されている場合に限り使用できます。</p> <p>定義されているどのルールにも一致しない着信は、有効になっている任意の着信スクリーニングオプションを使用して、プライマリ内線番号に転送されます。これらの着信をスクリーニングしない場合は、すべての着信に一致するワイルドカード文字を使用してルールを作成し、ルール設定の最後のルールとして設定し、[電話をスクリーニングする (Screen the Call)] チェックボックスをオフにします。</p>

ステップ 6 [プレビュー (Preview)] セクションで、[プレビューのアップデート (Update Preview)] を選択してルールのテキストバージョンを表示し、ルールをルール設定に追加する前に、そのルールが正しいことが確認できます。

ステップ 7 [保存 (Save)] を選択して、ルールをルール設定に追加します。

ステップ 8 この設定にさらに追加するルールがあれば、手順 1 ~ 7 を繰り返します。

ルールの変更

手順

- ステップ 1** パーソナル着信転送ルール Web ツールの [ルール (Rules)] メニューで、[着信転送ルールの設定表示 (View Call Transfer Rule Sets)] を選択します。
- ステップ 2** [着信転送ルールの設定 (Call Transfer Rule Sets)] ページで、変更するルールを含むルール設定の名前を選択します。
- ステップ 3** [ルール設定 (Rule Set)] ページの [転送ルール (Transfer Rules)] リストで、そのルール名を選択します。
- ステップ 4** [ルール] ページで、必要な変更を行います。
[ルール設定へのルールの追加 \(3 ページ\)](#) の表を使用して、フィールドの値を決定します。
- ステップ 5** [プレビュー (Preview)] セクションで、[プレビューのアップデート (Update Preview)] を選択してルールのテキストバージョンを表示し、変更したバージョンが正しいことが確認できます。
- ステップ 6** 保存を選択します。

関連トピック

[ルール処理設定の変更](#)

ルール設定でのルールの順序変更

ルール設定内のルールの順序は重要です。その理由は、Cisco Unity Connection では、ルールがリストの先頭から末尾に向けて順番に処理され、着信コールについて条件が最初に一致したルールだけが適用されるからです。

ルール設定に複数のルールがある場合、ルールは最も固有性の高いものから最も固有性の低いものへと配列して、必ず Connection が、より一般的なルールではなく、最も固有性の高いルールを着信コールに適用するようにします。



- ヒント** 設定で優先順位を1つのルールだけで変更するには、[ルール設定] ページの [転送ルール] リストでそのルールに変更を加えて、[優先順位のアップデート] をクリックします。それに応じて、ルール設定の他のルールはすべて、優先順位が変更されます。

手順

- ステップ1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [ルール (Rules)] メニューで、[着信転送ルールの設定表示 (View Call Transfer Rule Sets)] を選択します。
- ステップ2 [着信転送ルールの設定 (Call Transfer Rule Sets)] ページで、ルール設定の名前を選択します。
- ステップ3 [ルール設定 (Rule Set)] ページで、[優先順位 (Priority)] カラムに数字を入力して、Connection で設定のルールが処理される順番を指定します (たとえば、「着信はすべてボイスメールに送信する」というルールを最初に処理するには、1 を入力します。「ジェーン・スミスからの着信は携帯電話に送信する」というルールを 2 番目に処理するには、2 を入力します)。
- ステップ4 [優先順位のアップデート (Update Priority)] を選択します。ルールは、それぞれの優先順位に応じて再配列され、保存されます。

ルール設定のテスト

着信転送ルールのテスト機能ツールを使用して、Cisco Unity Connection が設定にあるルールに基づいて着信コールを転送する状況を見ることができます。ルールを作成した後でルール設定を選択して、そのルールが特定の発信者または特定の時間に到達する着信コールに適用されるかどうかを見ます。

着信転送ルールのテスト機能ツールは、着信転送の問題を診断する優れた方法でもあります。たとえば、着信コールが予想どおりに転送されなかった場合、実際の発信者の名前と着信が発信された時刻と日付を入力します。このルール テスト機能は、ルール設定の中の Connection が着信コールに適用する部分をつきとめるのに役立ちます。

着信転送ルールのテスト機能を使用して結果を得るには、テストするルールを含むルール設定が有効またはアクティブになっている必要があります。



- (注) 着信転送ルールのテスト機能ツールを使用しても着信転送の問題が診断できない場合は、Connection の管理者に問い合わせてください。

手順

- ステップ1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [ツール (Tools)] メニューで、[着信転送ルールのテスト機能 (Call Transfer Rule Tester)] を選択します。
- ステップ2 [着信転送ルールのテスト機能] ページで、テストに使用する着信コールの条件を入力または選択します。
 - 発信者の名前または電話番号。既知のユーザ (Connection ディレクトリまたは連絡先内のユーザ) についてテストする場合は、[発信者の選択 (Select Caller)] を選択してユーザを [着信転送ルールのテスト機能 (Rule Tester)] に追加します。

- 時刻。
- 暦日。
- 年。
- ユーザが会議中かどうか。

このルールのテスト機能ツールを使用して正確な結果を得るために、日付を指定します。日付を指定しなかった場合、このルールはデフォルトである現在の日付で評価されます。

ルールをテストする条件は任意の方法で組み合わせることができます。たとえば、発信者、時刻、日付、および年を指定できます。または、時刻と日付だけを指定することもできます。

ステップ3 [テスト (Test)] を選択します。

指定した着信条件にあてはまる有効、またはアクティブになっているルールがある場合、**Connection** はそのルールを表示します。

指定した着信条件にあてはまる有効、またはアクティブになっているルールがない場合、**Connection** は一致するルールが見つからなかったことを示すメッセージを表示します。

ヒント 着信転送ルールのテスト機能を使用して、着信が特定の 방법으로転送されない原因を診断する場合は、幅広い条件を定義して開始します。たとえば、名前と日付を与えます。ルールを幅広い条件に適用した場合は、条件を次第に狭くして、ルールがその着信に適用されなかった理由をつきとめます。

関連トピック

[ルール設定の有効化と無効化](#) (10 ページ)

ルール設定の削除

手順

ステップ1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [ルール (Rules)] メニューで、[着信転送ルールの設定表示 (View Call Transfer Rule Sets)] を選択します。

ステップ2 [着信転送ルールの設定] ページで、削除するルール設定の横にあるチェックボックスをオンにします。

ステップ3 メニューバーの下にある [選択した行削除 (Delete Selected Rows)] アイコンを選択します。

ルール設定がアクティブになっている場合は、ルール設定が削除できないというエラーメッセージが表示されます。

ステップ4 [OK] を選択してそのルール設定を削除します。

ルール設定の有効化と無効化

ルール設定の有効化とは、そのルール設定をアクティブにする曜日または期間を設定することを意味します。Cisco Unity Connection では、スケジュールを使用して、ルールを着信コールに適用します。パーソナル着信転送ルール Web ツールでアクティブにする期間を事前にスケジュールできます。

ルール設定の無効化とは、そのルール設定をアクティブにできなくすることを意味します。

Connection では、複数のルール設定を同一期間内に有効になるように設定できます。複数のルール設定が有効になっている場合、日付の範囲に有効になっている設定が、曜日によって有効になっている設定に優先します。日付の範囲が適用できなくなった場合は、曜日によって有効にされた設定が元に戻されます。複数のルール設定を重複した日付に有効にすることはできません。

手順

ステップ 1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [ルール (Rules)]メニューで、[ルール設定を有効にする (Enable Rule Sets)]を選択します。

ステップ 2 日付の範囲に対してルール設定を有効にするには、次の手順を実行します。

- a) [ルール設定を有効にする (Enable Rule Sets)]ページの [期間 (Date Range)]セクションで、[ルールの設定 (Rule Set)]カラム リストにおいて有効にするルール設定を選択します。[有効にする]カラムのチェックボックスは、自動的にオンになります。
- b) [開始日 (Start Date)]カラム リストと [終了日 (End Date)]カラム リストにおいて、該当する日付を設定します。
- c) 別の行を追加するには、[期間の追加 (Add Date Range)]を選択してから、手順 a と手順 b を繰り返して、追加のルール設定に期間を指定します。

複数の期間を事前にスケジュールできます。次に例を示します。

- 休暇ルール設定、3月1～8日に有効にする
- 出張ルール設定、3月9～11日に有効にする
- 週労働時間ルール設定、3月12～31日に有効にする

当日を含む期間に有効にされるルール設定だけがアクティブになります。

- d) **保存**を選択します。

ステップ 3 曜日に対してルール設定を有効にするには、次の手順を実行します。

- a) [ルール設定を有効にする (Enable Rule Sets)]ページの [毎週 (Days of Week)]セクションで、[ルールの設定 (Rule Set)]カラム リストにおいて該当する曜日に有効にするルール設定を選択します。[有効にする]カラムのチェックボックスは、自動的にオンになります。

1つのルール設定を1つの曜日だけでなく複数の曜日（たとえば、毎週火曜日、毎週平日、毎週末）に対しても指定できます。または、[毎日（Daily）]を選択して、ルール設定をすべての曜日に適用することもできます。

b) 保存を選択します。

ステップ4 ルール設定を無効にするには、次の手順を実行します。

a) [ルール設定を有効にする] ページで、[有効にする] カラムのチェックボックスをオフにします。

または、[ルールの設定（Rule Set）] カラム リストの [なし（None）] を選択します。

b) 保存を選択します。

関連トピック

[パーソナル着信転送ルールを適用するための基本転送ルールの設定](#)（11 ページ）

パーソナル着信転送ルールを適用するための基本転送ルールの設定

また、パーソナル着信転送ルールは、アクティブな基本ルール（標準、オプション、または時間外転送ルール）が、基本設定の代わりにパーソナル着信転送ルールを適用するように設定されている場合にのみ使用されます。パーソナル着信転送ルール設定を作成して適用した後は、パーソナル着信転送ルールを適用するように基本転送ルールを設定する必要があります。



(注) Messaging Assistant Web ツールを使用して、次の手順を実行します（パーソナル着信転送ルール Web ツールではありません）。

手順

ステップ1 Messaging Assistant Web ツールの [設定（Preferences）] メニューで、[着信転送とスクリーニング（Transfer and Screening）] を選択します。

ステップ2 転送ルールの表内で、パーソナル着信転送ルールを使用するために設定する基本転送ルールを選択します。

ステップ3 [この基本ルールがアクティブな場合（When This Basic Rule Is Active）] フィールド内で、[パーソナル着信転送ルールを適用（Apply Personal Call Transfer Rules）] を選択します。

ステップ4 保存を選択します。

ステップ5 パーソナル着信転送ルールを使用するために設定する基本転送ルールごとに、手順1～4を繰り返します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。